

J-SLA ニュースレター 2016 年 6 号

梅雨の折から、J-SLA 会員の皆様にはますますご健勝の事と存じます。今回のニュースレターは、報告とお知らせがございます。また、リマインダーも 2 点記載しております。

報告(1)：『初夏の研修会』終了

2016 年度『初夏の研修会』は、6 月 19 日（日）に 3 名の講師をお招きし、京都女子大学にて開催され、34 名が参加しました。講演していただいたのは、以下の方々です。

講演 1 石川慎一郎氏（神戸大学）

「学習者コーパスと SLA 研究：L2 運用の可視化を目指して」

講演 2 柴田美紀氏（広島大学）

「第二言語習得、英語教育、リンガ・フランカ英語の視点から考える非母語話者英語」

講演 3 尾島司郎氏（滋賀大学）

「人工文法学習パラダイムと言語習得研究」

石川氏には学習者コーパスの誕生までの経緯、学習者コーパスの目的や研究結果、今後の課題について、非常に明快でかつテンポのよいトークでご紹介いただき、あっという間の 90 分でした。J-SLA 事務局の柴田も発表の機会をいただきました。第二言語学習者と社会とのかわりに着目、主にアイデンティティ、言語態度、リンガ・フランカとしての英語から英語学習について議論し、教育的示唆にも言及しました。3 つ目の招待講演は本学会の運営委員でもある尾島氏が、人工文法学習パラダイムを用いて、大人と子ども、大人と赤ちゃん、人間とサル、明示的学習と暗示的学習などを比較した研究を紹介しながら、人工文法の有用性と弱点について概説しました。いずれの講演も非常に興味深く、ますます研究意欲がわいた一日でした。ご多忙のところ、発表していただいた講師の皆様にあらためてお礼申し上げます。

報告(2)：学会誌の進捗状況

須田編集委員長より、学会誌 *Second Language* 15 号は、外部査読の結果、現時点で研究論文 1 本が決定している旨、報告がありました。

報告(3)：今年の第一回総会を「初夏の研修会」で行いました(6月19日12:00-12:30)。審議の結果、以下の事項が承認されました。

1. 2015 年度決算(仮)

2. 2016 年度予算案

3. 運営委員任期の変更：会長、副会長、運営委員の任期が現行の3年から、2年へ変更すること、また、副会長については、再任を妨げないが、2期を超えてはならない規定が追加され、いずれも承認されました。

4. 2017 年度行事予定

① 2017年度年次大会

開催日：6月3日・4日

開催校：静岡文化芸術大学

招待講演者：Holger Hopp氏

② 2017年度「秋の研修会」

開催日：10月15日か22日で検討中。

開催校：首都大学東京

【リマインダー】

1. 学生会員の定義が変更になっています。現行の規定では、学部生および大学院生が「学生会員」の資格に該当します。学生会員として登録する場合、学生証のコピー送付(pdfでメールに添付)をお願いしております。
2. PacSLRF2016 の参加費には 2016 年度の J-SLA 会費が含まれております。したがって、PacSLRF2016 の参加費をお支払いになられた会員の方は、2016 年度会費を新たに収める必要はありません。
3. PacSLRF2016 のお申込みがまだの会員の皆様、早期申込は 6 月 30 日までです。また、最終の申込は 8 月 20 日です。

問合せ：J-SLA 事務局 柴田美紀 (shibatam@hiroshima-u.ac.jp)